令和6年7月18日 第50回定例記者発表資料

工学部入学者選抜における 女子枠の導入について



工学部総合工学科 電子情報工学コース

- 令和7年4月設置予定の新コース
- 募集人員:前期日程20名,後期日程15名,学校推薦型選抜5名
- 学校推薦型選抜に女子枠(推薦④女子特別枠)を導入
- 共通テストは課さない





→ 半導体、デジタル・情報分野での人材強化 + 社会が求める女性人材の輩出

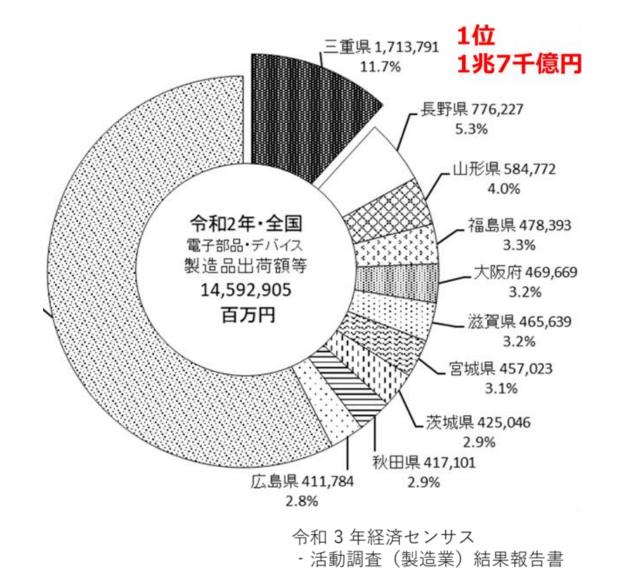
女子枠を導入する背景

ものづくりの現場においては,様々な視点による研究・技術開発が求められており,県内の企業においても女性技術者のニーズが高まっている。特に,三重県は電子部品・デバイスの製造品出荷額が全国1位である,電子情報工学分野での人材が強く求められているが,直近の本学工学部の女子入学者比率は16%程度に留まっており,社会が求める女性人材の輩出等が,十分に確保されているとは言えない状況。

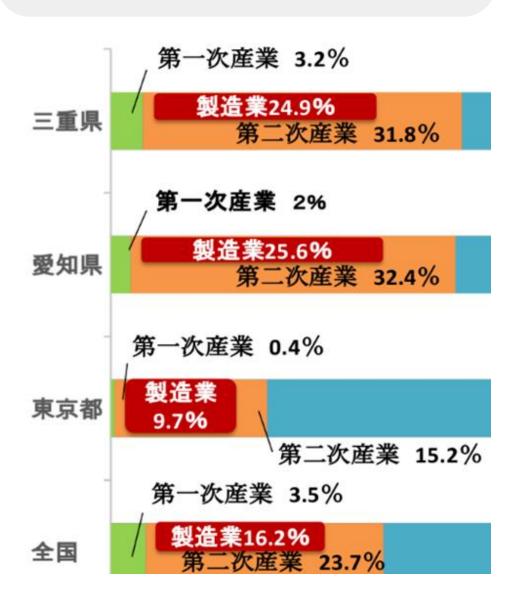


多様な学生を受け入れるとともに、社会からの理工系女性人材育成の要請に応えるため導入

三重県18年連続1位 =半導体・デジタル分野人材不足

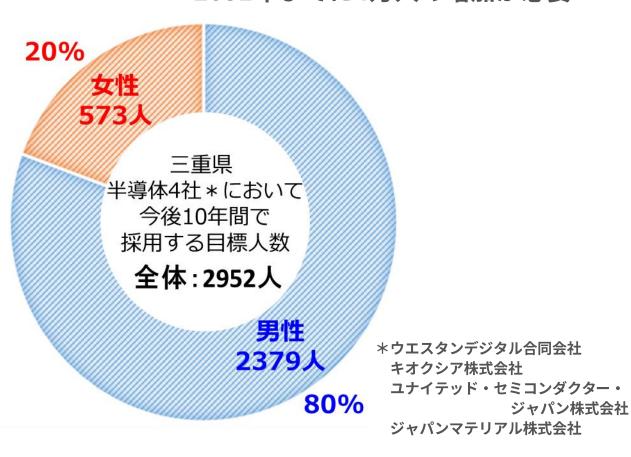


製造業の従事割合が三重県は全国4位 =理系人材不足



三重県における半導体産業人材 =男性・女性ともに人材不足

日本の半導体産業への人材は, 2031年までに4万人の増加が必要



みえ半導体ネットワーク総会資料より

現状と大学の取組み、女子枠の導入により期待される効果

女子枠の導入は、単に女子学生の増加を図るだけに留まるものではなく、これを契機として、これまで以上に男女がそれぞれの個性を理解し、 尊重することで学び合う環境をより充実させることを目指す。女性のキャリアパスに触れる機会等を増加することで、多様なものの見方・考え方 を知り、新たな技術・価値の創出に貢献することのできる多様な人材の育成・輩出が期待される。

令和6年度入学者数							
区分		定員	男		女		計
	総合工学科	400	348	86%	59	14%	407
工 学 部	[内訳]						
	総合工学コース		35	90%	4	14%	39
	機械工学コース		78	95%	4	5%	82
	電気電子工学コース		85	93%	6	7%	91
	応用化学コース		65	71%	27	29%	92
	建築学コース		30	73%	11	27%	41
	情報工学コース		55	89%	7	11%	62

令和5年度 半導体分野の出前授業参加者

開催日	高校	学年	男	女	合計	備考
9月25日	宇治山田	2	35	5	40	授業
10月26日	伊勢	2	29	15	44	授業
11月20日	四日市	2	6	2	8	SSH
		1	13	1	14	
1月15日	桑名	2	13	2	15	SSH
		1	14	13	27	
			74%	26%	148	

1/4ぐらいの女子高生は、関心がある

電子情報工学コースの設置

- ✓ 学校推薦型選抜に女子枠
- ✓ 体験型公開授業など夏季休暇でのPR
- ✓ 女性のキャリアパスの講演会と交流会
 - =女性研究者が輝く未来創造プロジェクト

令和5年度

大学の女性教員2名,半導体企業の女性研究者1名の講演会と交流会



宮川鈴衣奈 先生 (名古屋工業大学)



長嶺沙綾子先生 (ウエスタンデジタル合同会社)

令和6年度

卒業生の女性教員1名,卒業生の半導体企業の女性研究者1名の講演会と交流会

月日	講師	ご所属	題目
7月10日	井谷 彩花*	ウエスタンデジタル合同会社	なんとなくわかる半導体 ~ プロセス編 ~
7月30日	宮川 鈴衣奈**	名古屋工業大学 大学院 工学研究科 物理工学専攻 助教	選択を正解に



本学 工学研究科の修了生 *修士 **博士

工学部総合工学科電子情報工学コース(令和7年4月設置予定)



半導体、デジタル・情報分野での人材強化

学校推薦型選抜に女子枠(推薦4)女子特別枠)を導入



共通テストを課さない



半導体、デジタル・情報分野に興味のある人



入学後の支援など



女性のキャリアパス教育の実施



地域の半導体企業と連携して、女子学生を対象とした奨学金





社会が求める女性人材の輩出